

ンジを力に！』

周りを変えていくぐらいの気概を持ってやっていると、ついて回りになる。というアドバイスに、自分のクラブの魅力度アップが一番の使命だと感じた研修協議会でした。

以上で、2022-23年度地区研修・協議会のご報告とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

* * * * *

◎第6分科会

児玉 寿 次期ロータリー財団・国際奉仕委員長
テーマ：ロータリー財団を活用しよう



次年度ロータリー財団・国際奉仕委員長を仰せつかりました、児玉でございます。第4分会の国際奉仕については、副委員長の小川 誠さんに出席をいただき、前回例会にて報告をいただきました。ありがとうございました。素晴らしかったです。

私は第6分科会ロータリー財団委員会に出席しました。現在入会4年目ですが、ロータリー財団委員会が5つの小委員会で構成されていることすら理解しておりませんでした。諸先輩方は、御承知のこととは存じますがお時間をいただきたくお願い申し上げます。

5つの小委員会1つ目は、・ポリオプラス・職業研修チーム委員会です。ロータリー財団の最優先項目でありますポリオプラスプログラム（世界のポリオ根絶のための取組み）とグローバル補助金を利用した職業研修チーム（VTT）です。VTT事業は、2020年よりコロナ過のため中止されておりますが、以前は、農作物の育成技術事業や、院内感染の予防指導などの事業を行っています。ご参考ですが、近年の世界合計ポリオウイルス症例数は、2020年140例、2021年6例、2022年1~3月で1例とのことです。実際に発症するのは200人に1人程度らしく、根絶まであと少しとの事です。

2つ目は、グローバル奨学生・平和フェロー委員会です。地域社会の経済発展や、基本的教育と識字率向上などのロータリー重点分野に関連する課程を海外の大学院修士課程で学ぶ方を対象に返済不要の奨学金給付プログラムです。年1名で、60,000ドル超の奨学金とのことです。平和フェローは世界8つの大学と提携運営し、世界平和と、紛争予防の担い手を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築いています。未来のリーダー育成のため、ロータリー会員の皆様からの寄付によって支えられています。引き続きのご支援を宜

しくお願いいたします。

3つ目は資金管理委員会です。資金管理運用の委員会です。時間の都合にて割愛いたします。

4つ目は補助金委員会です。補助金については、地区補助金とグローバル補助金があります。地区補助金は比較的小規模で、短期間のプロジェクト支援と地元や海外で今すぐ必要とされる支援に活用することができます。従来より大きく変更になっている点は、補助可能額が3年前の年次基金寄付の25%となる点と地区補助金申請ルールで、寄贈の文字が使用できるように緩和されました。グローバル補助金については、7つの重点分野（環境、平和構築と紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、地域社会の経済発展）に一致し、持続可能かつ測定可能な成果、海外クラブとの協力、予算30,000ドル以上です。比較的クラブの現金拠出は少なくとも、DDF（地区財団活動資金）や、WF（国際財団活動資金）が配分されることにより、年次基金額にもよりますが、クラブ拠出金の20倍近い活動資金となります。

最後は資金推進委員会です。年次基金お一人150ドル以上、ポリオプラス基金30ドル以上、恒久基金ベネファクター1名ロータリーカードの利用によるエンドポリオの支援促進依頼があり分科会が閉じられました。

以上ご報告いたしました。実はロータリー財団からQRコード付の資料を頂戴しております。私がこうしてご報告させていただくよりも素晴らしく分かりやすいと思います。ご質問の際には、スマートフォンをお持ちください。以上ご報告いたします。

* * * * *

◎第7分科会

梅田佳和 次期米山記念奨学会・青少年奉仕委員長
テーマ：奉仕の未来を描こう青少年と共に



- ・地区研修・協議会 第7分科会（青少年奉仕関係）についての報告をさせていただきます。テーマは「奉仕の未来を描こう青少年と共に」です。
- ・初めに次期地区ロータリー奉仕委員会 長瀬委員長より「ロータリーの奉仕の考え方」について説明がありました。今後、新しい奉仕の形をローターアクト、インターアクトと共に作っていききたい。また、国際奉仕等他の委員会と共に奉仕活動をおこなっていききたいというお話でした。佐藤副委員長より基本的な「委員会の組織概要」説明があり、その後、各委員会の活動方針について発表がありました。

- ・青少年交換委員会より、青少年交換事業の概要・目的・沿革等について説明があり、過去2年間はコロナの影響で派遣ができていないが今年度は実施予定である事、今後、各クラブにも積極的に活用して欲しいと要望がありました。
- ・RYLA委員会より、過去事例の説明があり、2023年3月25日から26日開催のRYLAセミナー「夢を探そう」の紹介がありました。ロータリークラブまたは地区が実施する「ロータリー青少年指導者養成プログラム(=RYLA)」で若い人たちが新しい友人をつくり、楽しみながらリーダーシップのスキルを磨くとの事です。対象は15歳から30歳です。
- ・ローターアクト委員会より、世界初のローターアクトクラブが1968年に設立した等の沿革説明があり、主に大学生が集まって地域社会のリーダーと意見交換したり、リーダーシップと専門的なスキルを育みながら楽しく奉仕活動をおこなっていると報告がありました。現在、2760地区では11のローターアクトクラブがあり189人のローターアクターが活躍しています。
- ・インターアクト委員会より、世界初のインターアクトクラブが1962年に設立した等の沿革説明があり、主に中学・高校生が集まって、地元でのボランティア活動やインターアクターとの交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養っていると報告がありました。現在、2760地区では19のインターアクトクラブがあり516人のインターアクターが活躍しています。
- ・学友委員会は目的・活動等の説明がありました。インターアクト、ローターアクト、米山奨学会等のプログラムを通してロータリー活動を経験した事がある人=「学友」の横の繋がりを推進し、将来の会員増強の一助としたいとお話がありました。
- ・最後に山内次期ガバナー補佐より、言葉だけでなく互いの違いを理解していかなければならない。青少年とふれあう事によってこちら側も向上していきたいとまとめのお言葉がありました。
- ・お話をされた方皆さんが青少年奉仕について、短い時間にも関わらず難しい言葉ではなく基本的な事から丁寧に説明をしていただいたので、青少年奉仕初心者の方でもとても分かりやすく聞く事ができました。以上です。

ご清聴ありがとうございました。

* * * * *

◎第9分科会

入会3年未満新会員 伊藤正久君

テーマ：今日からロータリアン

皆さんこんにちは。入会3年未満新会員という事で、第9分科会に参加して参りました。実はロータリー入る前に、加藤副会長と共通の知り合いが居まして、今度半田RCの会長をされる方なのですけれども、その方と今度ロータリーどうしようかなと話をしていた時に、ロータリーは中々奥が深くねえと、嵌る人も居るのだよと言う事を言われた事を思い出させるような地区研修・協議会になりました。ありがとうございました。



分科会としては、知っておきたい組織と決まり、ロータリー財団の歴史と活動について、米山記念奨学会の基礎知識といろいろあったのですが、一番印象に残ったのはバスターガバナーの村井さん、非常に親しみやすい話し方で、寄り添うようなその様なお話の内容だったのかなあという事で、村井さんはロータリーとは何だろうというお話を頂きました。今日からロータリアンという小冊子を頂いたのですが、その中で一つ、私が印象に残ったお話をさせていただきますと、四つのテストが書いてありますけど、これの覚え方が、しみこみだよと、皆さん勿論ご存知だと思いますけれども、しみこみだという事。それが、かなり歴史が古くて、日本で最初にバナーに貼ったのが1954年大阪のロータリークラブだったという事で、私が生まれる前にはこういう事がロータリークラブではやっていたという事を思いました。

それから村井さんが言われた事で、これを置き直してみてください。あなたたちの仕事を職業に置き直してみると、四つのテスト、あなたの商売に嘘や偽りはありますか？全ての取引先に公平ですか？信用を高め取引先を増やせますか？全ての取引先に利益をもたらせますか？と置き換えてみてくださいと言われて、これまたいつも歌っていても、中々良く分からなかった事が商売に置き換える事で、なるほどなあと考える事が出来ました。

もう一つ村井さんが言われたのが、懇親会だとか、ゴルフだとか、飲み会だとか、ロータリーそれなりに何も考えずに参加しているだけで楽しいけど、もう一步踏み込んでみなさいよと、そうすると今まで以上に時間を使った価値観以上の物が得られるよと言う事を言われました。今日お集りの犬山ロータリークラブの先輩の皆さんと時間共有したり、交流させて頂く事によって、ロータリーの価値観とか楽しさとか今まで以上に自分の物にしていきたいと、そう思っておりますので、今後とも宜しくお願い致します。

=本日のお食事=

